

2022/9/20

JAWW CSW67勉強会

デジタル時代における ジェンダー平等の実現に向けて

東京大学情報学環 特任研究員

BeyondAI研究推進機構 B'AI グローバルフォーラム

博士（社会デザイン学）

佐野 敦子

[sanoatsuko \[アット\] iii.u-tokyo.ac.jp](mailto:sanoatsuko@iii.u-tokyo.ac.jp)

今回の入門編の目的

デジタル×ジェンダーの論点整理

- デジタル×ジェンダーは内容が多岐に渡る。
- メリットもデメリットもある。これまでの課題も無関係ではない。潜在化していた課題も可視化される
- <今回のご案内から>
- デジタル時代の今日、私たちは**世界中の人たちと瞬時に繋がることができます**。コロナ禍にあって、その恩恵に浴する機会が増えているのを実感します。
- 一方で、目に余る**サイバー暴力、アクセスから取り残される人々、アンコンシャス・バイアスを強めるAI** 等々、ジェンダー不平等が増幅されていることも見逃せません。また、デジタル時代を**リードする層に女性が少ない**というのも課題のひとつです。

今回の入門編の内容

デジタル×ジェンダーの論点整理

- **1 CSW67ではどこに主眼が置かれるか？**
 - ・ 今回のテーマの経緯—北京行動綱領・SDG s から振り返る—
 - ・ CSW62との比較から
- **2 私たちはCSWをいかに日本の「イノベーション（革新）」につなげられるか？**
 - ・ 現在の日本の施策と「イノベーション」
 - ・ AIとアンコンシャス・バイアスの強化—影響と低減のための課題
- **3 私たちはどんな「イノベーション（革新）」を目指すのか？（質疑応答も兼ねて）**
- **<参考> ドイツの近年の動向**
 - ・ 第3次男女平等報告書（デジタル社会における男女平等なチャンス）の提示
 - ・ 平等連邦研究所（Bundesstiftung Gleichstellung）の設立とタスク 等

1 CSW67の主眼は？

今回のテーマの経緯—北京行動綱領からSDG s から振り返る—

- 1995年 北京行動綱領 Jメディア

戦略目標J. 1. メディア及び**新たな通信技術**における, またそれらを通じた表現及び意思決定への**女性の参加とアクセスを高めること**

- 2003年 CSW47の優先テーマ

メディア、**情報、コミュニケーション技術 (media, and information and communications technologies)** への女性の参加とアクセス及び**女性の地位の向上とエンパワーメントのための活用**とインパクト

- 2015年 SDG s 5.b

女性の**能力強化 (Empowerment)** 促進のため、**ICTをはじめとする実現技術の活用を強化する (Enhance the use of enabling technology)**。

- 2018年 CSW62 CSW47をふりかえるレビューテーマ

- 2023年 CSW67の優先テーマ ジェンダー平等とすべての女性・少女の**エンパワメント達成**のための**デジタル時代における革新、技術変革及び教育**

1 CSW67の主眼は？

今回のテーマの経緯—北京行動綱領からSDG s から振り返る—

①「最新技術」を示す言葉の変化

- 新たな通信技術 (the media and new technologies of communication)
- →情報、コミュニケーション技術 (media, and information and communications technologies)
- →デジタル時代における革新、技術変革及び教育(Innovation and technological change, and education in the digital age)

②目的と対象の拡大

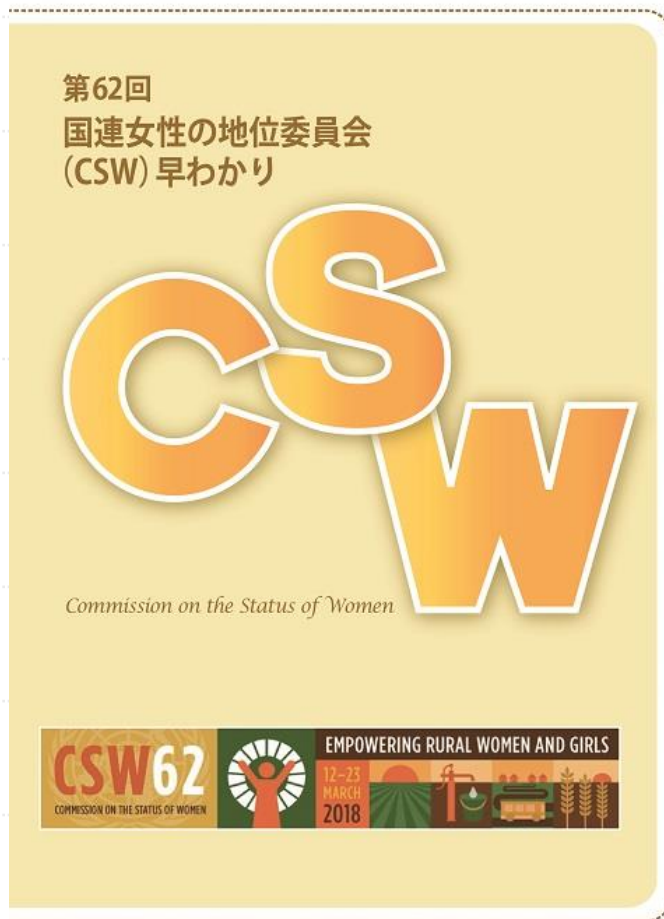
- 女性の参加とアクセスを高める
- → + 女性の地位の向上とエンパワーメントのための活用
- → ジェンダー平等とすべての女性・少女のエンパワーメント達成

③イノベーション（革新）と教育の登場

- ジェンダー平等の達成のためのデジタル時代におけるイノベーション（革新） と解釈？

1 CSW67の主眼は？

CSW62との比較から ジェンダー平等達成の「革新」へのヒント



今回はCSW62の優先テーマとレビューテーマが逆になっている

→このときに延長線上でCSW67の議論が行われる予想

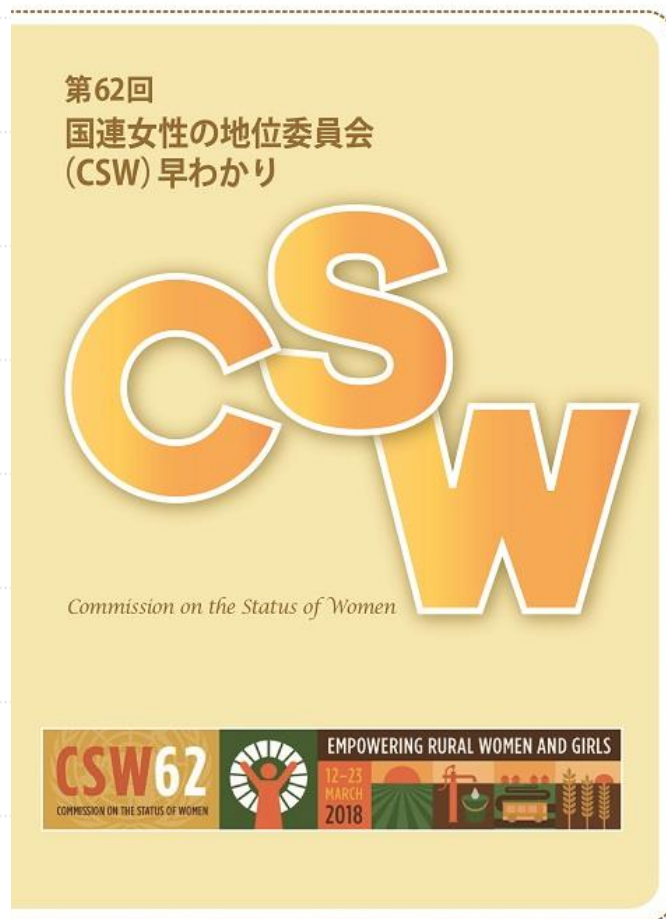
CSW62では。。。

- ソーシャル・メディアの登場をめぐる活発な議論
- SDGsの17の目標とICTの活用が結びつけられる。
- メディアだけではないテーマの多様化

国立女性教育会館（2018）第62回国連女性の地位委員会(CSW)早わかり
<https://www.nwec.jp/about/publish/2018/hqtuvq0000003wlq.html>

1 CSW67の主眼は？

CSW62との比較から



デジタルに関する取り上げられた内容

<優先テーマ>

農山漁村で暮らす女性や少女の教育、社会基盤や通信コミュニケーション技術（Information and Communication Technology、以下ICT）へのアクセス、

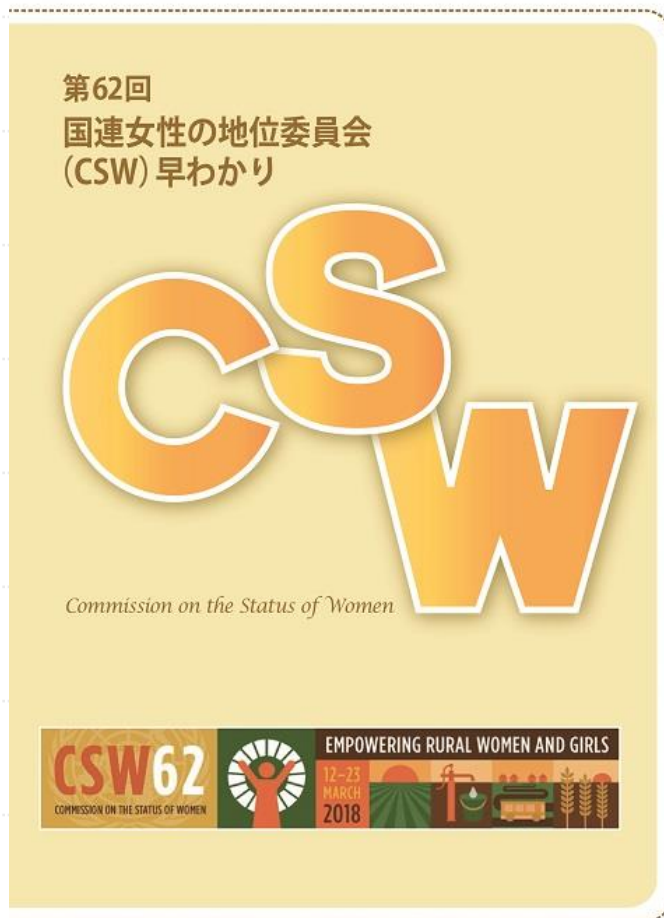
<レビューテーマ>

ICTを活用した教育・就労へのアクセス向上やサイバー空間で発生している女性に対する暴力など、ICTと女性の社会参画をめぐる課題

国立女性教育会館（2018）第62回国連女性の地位委員会(CSW)早わかり
<https://www.nwec.jp/about/publish/2018/hqtuvq0000003wlq.html>

1 CSW67の主眼は？

CSW62との比較から



優先テーマ×ICTの以下は今回必ず取り上げられると予想

SDGsの17の目標とICTの活用が結びつけられる。

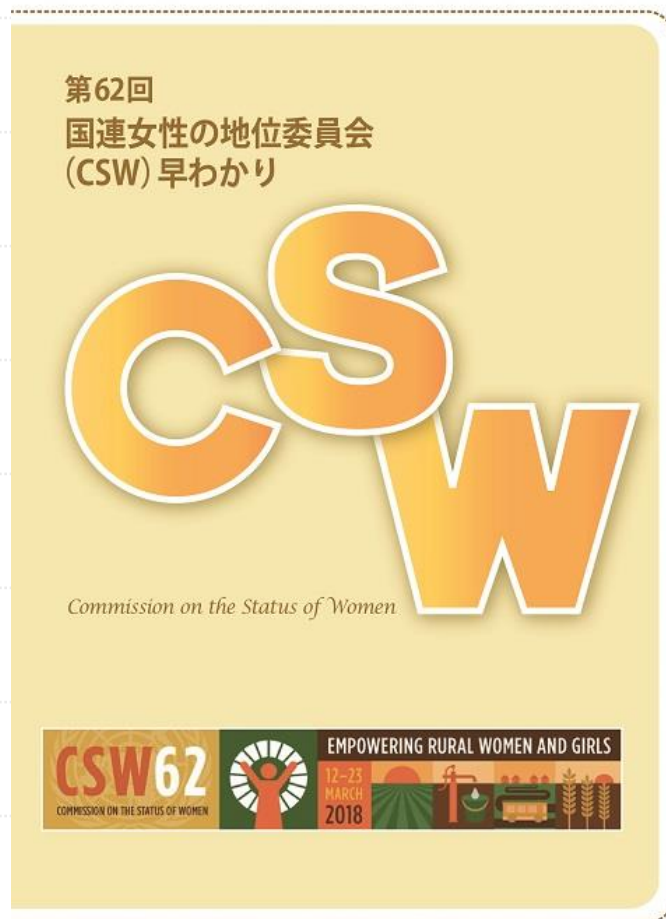
農山漁村女性のエンパワーメントに寄与した好事例として、**モバイル・バンキングやオンラインでの起業情報の提供と女性起業家の支援**（≡ 1 貧困、9 技術革新、8 働きがい、10 不平等etc）があげられた。

幼少期から**コンピューターに触れる機会**を作り、**中等教育の現場にICTセンターを設置すること**（≡ 4 教育）が、都市部と農村部間の**デジタル格差解消**（≡ 10 不平等 11 まちづくり）に有効であるとの意見も出ています。

国立女性教育会館（2018）第62回国連女性の地位委員会(CSW)早わかり
<https://www.nwec.jp/about/publish/2018/hqtuvq0000003wlq.html>

1 CSW67の主眼は？

CSW62との比較から



当時のサイドイベント・パラレルイベントで扱われていたICT
関連の内容

メディアだけではないテーマの多様化

ICTによる連帯の促進→#MeToo等

オンラインハラスメントやデジタル暴力

メディアで活躍する女性リーダー、ニュースで取り上げら
れる女性の割合の低さ、女性ジャーナリストの人権侵害

ジェンダー統計の整備／ビックデータ活用の可能性や議論

国立女性教育会館（2018）第62回国連女性の地位委員会(CSW)早わかり
<https://www.nwec.jp/about/publish/2018/hqtuvq0000003wlq.html>

2 CSWと日本の「イノベーション（革新）」

第5次男女共同参画基本計画（デジタル化社会への対応（Society 5.0）P9-10）から

- 第4次産業革命とデジタル技術の生活への浸透
- 労働・家事の補助・代替で生まれる余剰時間で、新たなサービスモデルの構築（DX：デジタルトランスフォーメーション）の創造、これまでのサービスの提供の在り方を見直し、潜在的ニーズの具現化など、新事業創出に注力できる
- 理系分野（STEM）の人材育成・環境整備が急務
- デジタル化社会での女性の経済的自立と快適・安全な生活には、必要なデジタル知識と技能の向上等デジタル・デバイドを防ぐのが肝要。教育や地域社会での取組が求められる。
- **懸念としてのアンコンシャス・バイアスの強化するAIの機能・防止策として多様な視点が入る男女の利用と開発における男女の参画の推進** ⇔ 上記の課題とも関連する！

第5次男女共同参画基本計画 ～ すべての女性が輝く令和の社会へ ～

〔令和2年12月25日
閣議決定〕

社会情勢の現状、予想される環境変化及び課題

- | | |
|------------------------------------|-------------------------------|
| (1) 新型コロナウイルス感染症拡大による女性への影響 | (5) デジタル化社会への対応 (Society 5.0) |
| (2) 人口減少社会の本格化と未婚・単独世帯の増加 | (6) 国内外で高まる女性に対する暴力根絶の社会運動 |
| (3) 人生100年時代の到来 (女性の51.1%が90歳まで生存) | (7) 頻発する大規模災害 (女性の視点からの防災) |
| (4) 法律・制度の整備 (働き方改革等) | (8) ジェンダー平等に向けた世界的な潮流 |

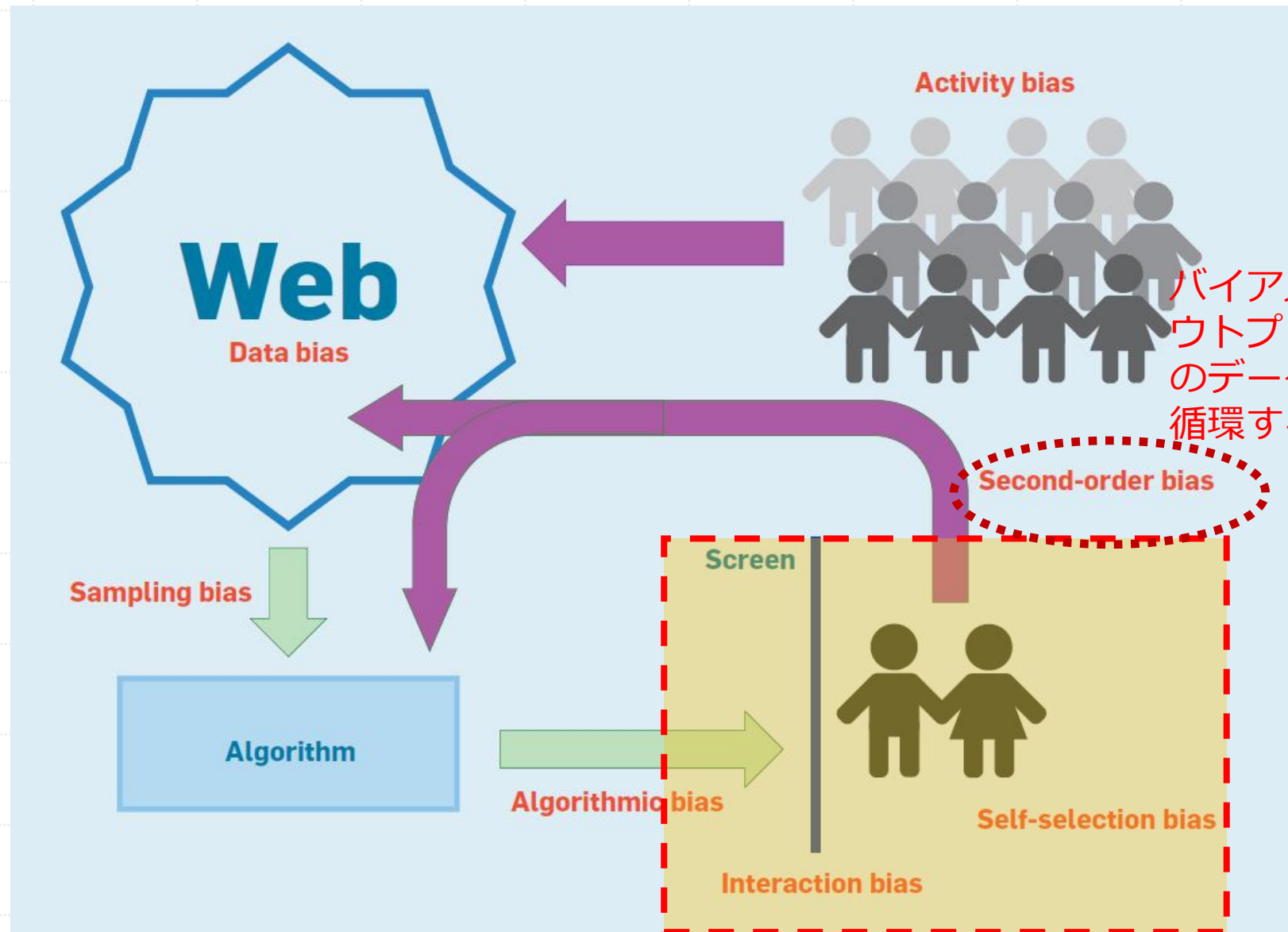
基本的な方針 (5) デジタル社会への対応 (Society 5.0)

○蓄積されたビッグデータをAIが解析することで、マーケティングや営業・販売プロセス等で活用されるなど、デジタル技術は我々の生活に深く浸透しつつある。

○さらに、**AIの短所に留意する必要がある**。中でも、AIの情報リソースとなる蓄積された過去のデータやアルゴリズム（コンピュータによる計算方法）にバイアスが含まれている場合があることを、開発者と利用者の双方が認識する必要がある。AIが過去を学習した上で解を導くに当たって、**これまでの男女の固定的な性別役割分担意識や性差に関する無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）を強める方向で使われる**ことの無いよう、男女が共に開発や利用に参画し、多様な視点でバイアスを改善することが重要である。

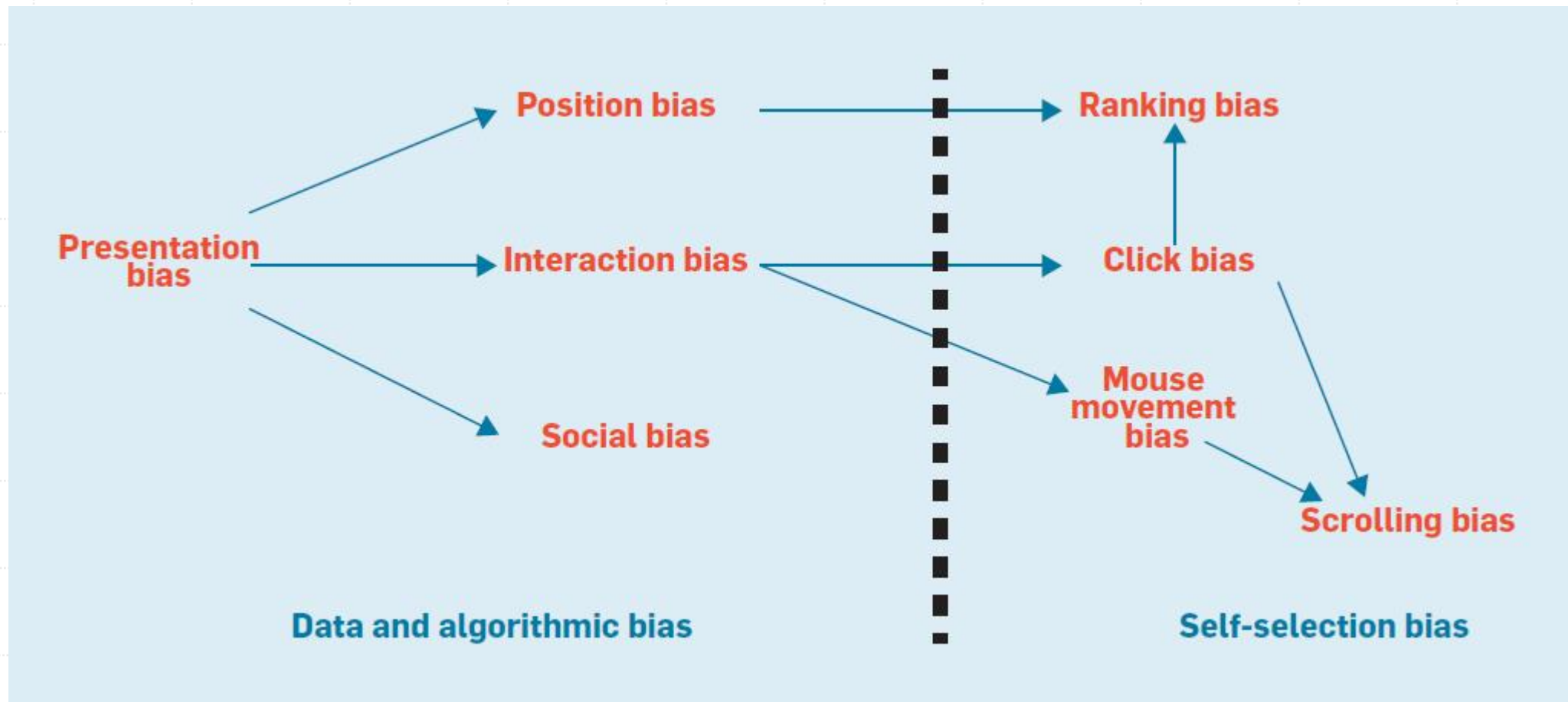
AIに関する記述のみを抜粋

< 解説 > AIによるアンコンシャス・バイアスの強化 Bias on the Web (Ricardo, Baeza-Yates)から



By Ricardo Baeza-Yates
Communications of
the ACM, June 2018,
Vol. 61 No. 6, Pages
54-61
10.1145/3209581

Bias on the Web (Ricardo, Baeza-Yates)



まずはバイアスの存在に気づくこと

- Any remedy for bias starts with awareness of its existence.
- Bias on the Web reflects biases within ourselves, manifested in subtler ways
- We must consider and account for biases in the design of Web-based systems that truly address the needs of users.

自分自身のバイアス
(無意識の偏見)

Webシステムの
バイアス

Algorithm bias

Anita Gurumurthy (IT for Change, India)

CSW62でポジションペーパー提示・B'AIで2021年3月オンライン講演

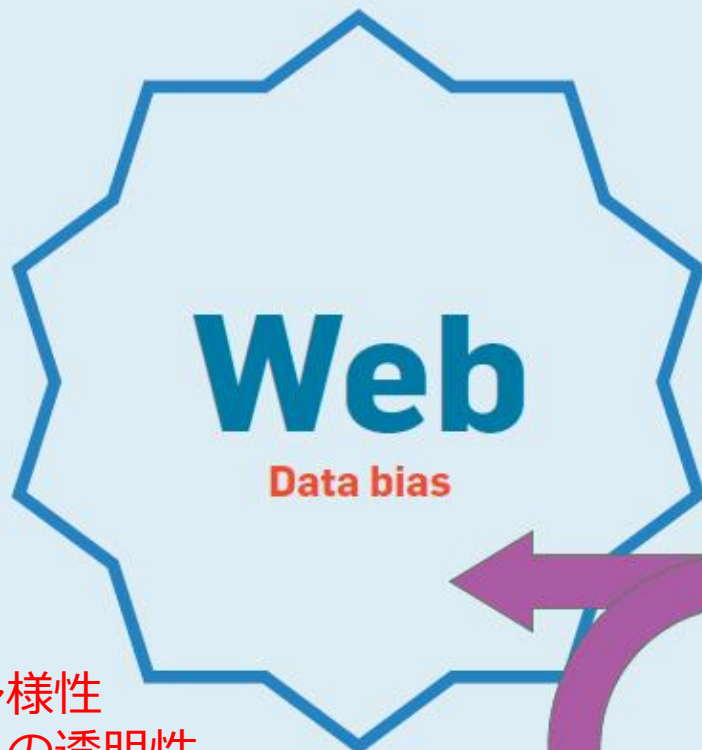
<https://itforchange.net/index.php/csw62-position-paper>

アルゴリズムは、資本主義を経済原理ではなく、社会秩序に昇華させるものです。



アルゴリズムは社会を変革する強力なアクター

- ・プラットフォーム上の労働環境のデータにアクセスする権利を労働者に与え、**女性労働者・販売者へのアフーマティブアクションを実施**し、男女平等のアルゴリズムを設計すべき
- ・アルゴリズムは、**新しい社会的関係に基づいたものでなければならない**



Data bias

Activity bias

スキル・アクセス
デジタルコンテンツの
ジェンダー・ギャップ



バイアスを含んだア
ウトプットが再度元
のデータに加わって
循環する！

Second-order bias

開発現場の多様性
アルゴリズムの透明性

Sampling bias

Algorithm

Algorithmic bias

社会変革につながる可能性あり！

Screen



Self-selection bias

Interaction bias

文化的・社会的
背景の違い
ICTへの慣れ
レビューの偏り

2 CSWと日本の「イノベーション（革新）」

- オンライン攻撃も無関係とはいえない

＜参考＞フィルターバブル

自分の意見や考え、趣向にあったものに泡のようにつつまれる。他の意見がみえない→それが正しいと信じる。分断や排除へ

- デジタル分野の女性の増加の目標値 → 何を基準に？ジェンダー統計の整備

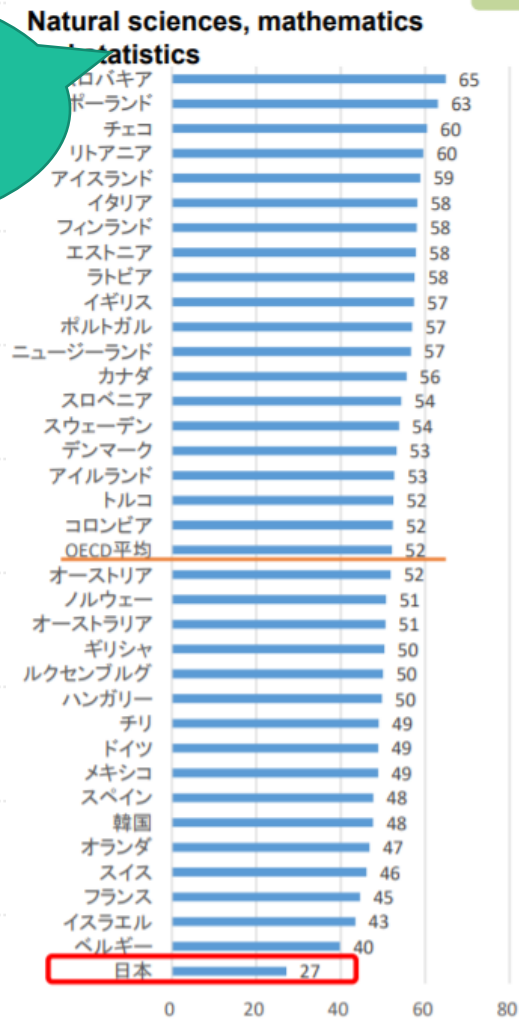
- メディア分野の課題がなくなったわけではない。

Cf. 戦略目標J.2 メディアにおけるバランスがとれ、固定観念にとらわれない女性の描写を促進すること

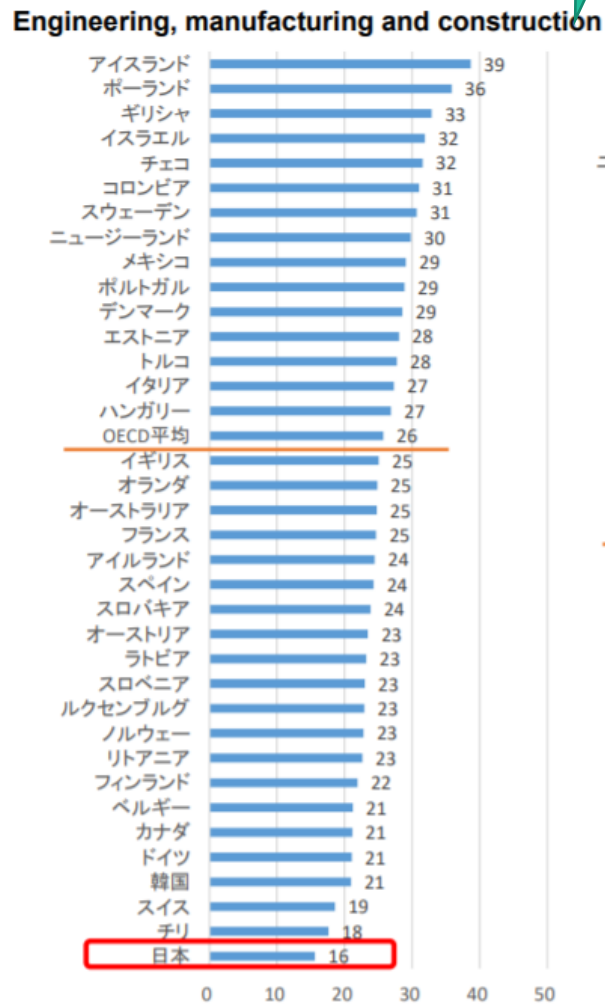
→アンコンシャス・バイアスにも関係

計画実行・監視専門調査会（5次計画の実行の監視etc.）

理学
自然科学・
数学・統計

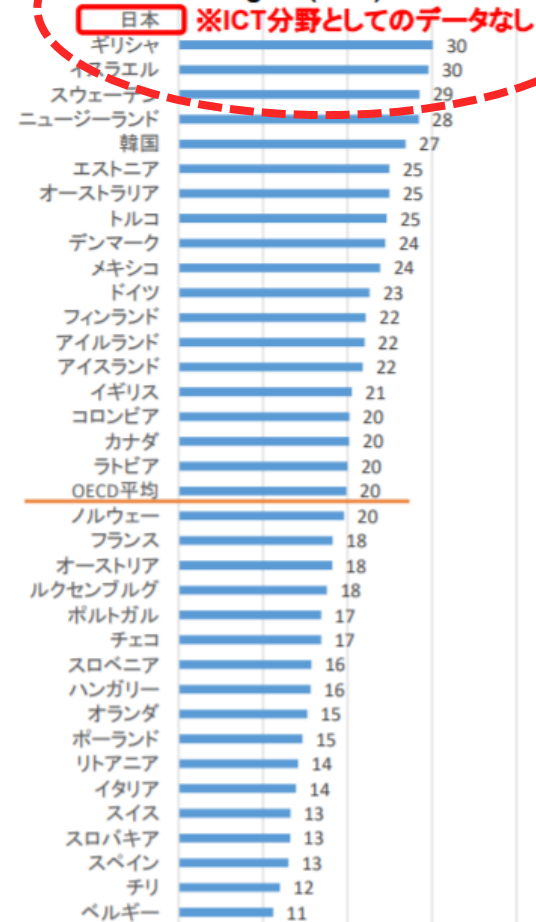


OECD2021 大学等入学者女性割合



工学

Information and Communication Technologies (ICTs)



※OECD.statより作成

3

2 CSWと日本の「イノベーション（革新）」

- 5次計画の第4分野 科学技術における男女共同参画の推進の成果目標は理系女性の増加だけ
- 第6期科学技術・イノベーション基本計画 「ジェンダード・イノベーション」が入る
- 経団連のデジタルトランスフォーメーションの定義

「デジタル技術とデータの活用が進むことによって、社会・産業・生活のあり方が根本から革命的に変わること。また、その革新に向けて産業・組織・個人が大転換を図ること」社会現象としての DX と企業の変革戦略としての DX の両方の意

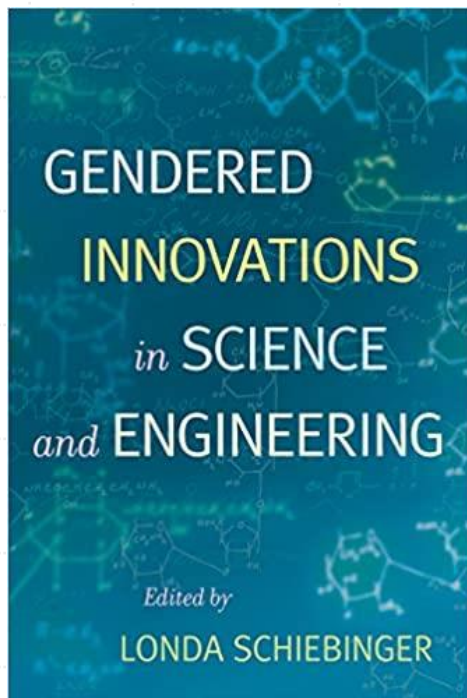
経団連（2020）Digital Transformation (DX)～価値の協創で未来をひらく～

https://www.keidanren.or.jp/policy/2020/038_honbun.pdf

Gendered innovation

数・機関・知識の「見直し」(FIX)

第6期科学技術・イノベーション基本計画にも入ったコンセプト



1. **"Fix the Numbers"** focuses on increasing women's and underrepresented groups' participation.
2. **"Fix the Institutions"** promotes inclusive equality in careers through structural change in research organizations (NSF; European Commission, 2011).
3. **"Fix the Knowledge" or "gendered innovations"** stimulates excellence in science and technology by integrating sex, gender, and intersectional analysis into research.

In a recent IEEE survey, 4,579 women responded to questions on being a woman in tech. The detailed findings reveal discouraging experiences and perceptions within the industry.

Many women experienced the same negative incidents at alarmingly high rates...



3 私たちはどんな「イノベーション（変革）」を目指すのか？（質疑応答も兼ねて）

CSW67「ジェンダー平等とすべての女性・少女のエンパワーメント達成のためのデジタル時代における革新、技術変革及び教育」→これまでよりも拡大した対象とジェンダー平等の達成を目指す

- 「ジェンダード・イノベーション」は、CSWで議論されようとしている「デジタル時代における革新（イノベーション）」につながるのか？
- 理系女性の増加だけを成果としてよいのか？なにを指標にするのがよいのか？
- メディアの話はどこに？

Cf. 戦略目標J.2 メディアにおけるバランスがとれ、固定観念にとらわれない女性の描写を促進すること →アンコンシャス・バイアスにも関係

4 参考としてドイツの近年の動向

①経緯 女性団体からの要望が地道に反映されてきている。

- ポジションペーパー → G20にあわせたWomen20開催 → 政府の政策提言書
ジェンダーからみたデジタル化への期待と課題の提示に成功

②男女平等戦略 デジタル化の位置づけ・デジタル化を機に何をを目指すのかが明確

- ・無償の家事労働と稼得労働のライフコースの視点をふまえた男女平等
- ・統一時からの課題／デジタル時代でも追求する
- 家での家事との両立・精神的負担の軽減・社会保障を考慮したモバイルワーク規制等
- (デジタル化×ジェンダーは、最終的なジェンダー平等達成の過程にすぎない)

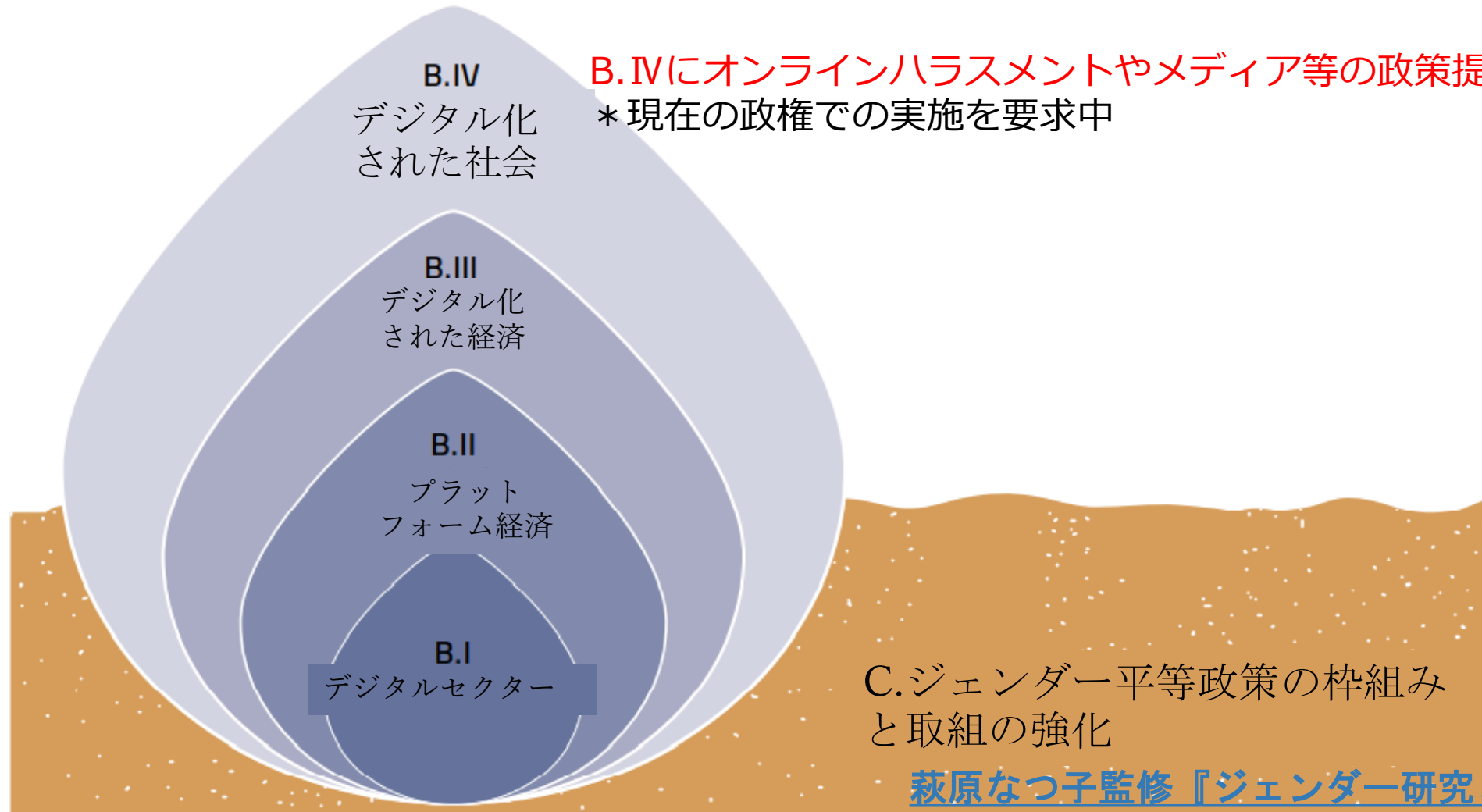
③平等連邦研究所の設立

4 参考としてドイツの近年の動向

- 2017年 G20に際して**Women20**がドイツで開催 **デジタル包摂**が柱のひとつに
- 2017年 **第2次男女平等報告書**（≡識者による具体的な政策提言）
- **「デジタル化」の言葉にはじめて言及**
- *連邦政府のAI戦略やデジタル化戦略にはジェンダーがない！
- 2017年－19年 女性協議会（女性団体のロビイング団体）主導でワークショップ開催
- 2019年 WSをもとにしたポジションペーパーを提示
 - *教育・労働・デジタル空間のコミュニケーションの3つのカテゴリー
 - 「未来をつくるーデジタル変容をジェンダーに公正な方向に」
- 2019年 第3次男女平等報告書 **「デジタル経済における男女のチャンス」**作成開始
- 2021年7月 男女平等戦略（日本の男女共同参画基本計画にあたる）提示
- **「デジタル世界でも男女平等を標準化する」**が入る
- 2021年12月 ジェンダー平等×デジタル化推進に積極的な新政権誕生

4 参考としてドイツの近年の動向

第3次男女平等報告書「デジタル経済をジェンダー平等に」



連邦初の男女平等戦略

* 日本の男女共同参画基本計画にあたる

I 稼得労働と無償のケアワークの平等な「分担 (Aufteilung)」

目標1 経済的自立をすべての人に

目標2 ケアの専門職を魅力的なキャリアパスに

目標3 **デジタル世界でも男女同権を標準化する ※含起業の女性割合**

目標4 稼得労働と無償のケアワークの新たな構築

II 経済分野・社会の平等な「参加 (Teilhabe)」

目標5 リーダー層にもっと多くの女性を

目標6 民主主義への平等な参加

目標7 文化と学問のステレオタイプの撤廃

III 政策・行政の男女平等「参加 (Teilhabe)」

目標8 行政機関の平等な「参加 (Teilhabe)」

目標9 ジェンダー平等を政府全体のタスクに

平等連邦研究所 2021年5月～

Mehr Wissen	Informationen bereitstellen	+
Mehr Aktion	die Praxis stärken	+
Mehr Innovation	neue Ideen entwickeln	+
Offenes Haus	ein Wissens- und Vernetzungsort für Gleichstellung sein	+

情報提供
(調査推進・情報拡散)

実践例

新しい試み・アイデアの発展

オープンハウス
知見とネットワーク形成